

令和3年度(2021年度)用

中学校国語科書写用

「新しい書写」 年間指導計画作成資料 【1年】

※単元ごとの配當時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい書写」(第1学年)年間指導計画作成資料

単元名の欄中「(3)エ(ア)」などは学習指導要領の内容を示す。

月	単元名	単元の目標	時数	学習活動	観点別評価規準
	書写で学ぶこと p.2-3	書写学習の目的を理解することができる。	適宜	① 3年間の学習の流れと目的を見通す。	
	書写の学習の進め方 p.4	学習の進め方の要点を理解することができる。	適宜	① 書写の学習の進め方を理解する。	
1 小学校の学習を振り返ろう					
4	姿勢と筆記具の持ち方 p.6-7 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆	小学校での学習を振り返り、自分の書き方を見直すことができる。	1	① 文字を整えて書くための姿勢、筆記具の名称・使用方法・持ち方を確認する。 ② 字形と配列を整える書き方について確認する。 ③ 基本の点画の書き方を確認する。 ④ 確認した既習事項をもとに、自分の書き方を見直す。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○小学校での学習を振り返り自分の書き方を見直している。
	字形と配列を整える書き方 p.8-9 (3) エ (ア) 【用具】鉛筆				
	基本の点画の書き方 p.10-12 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆				
	自分の書き方を見直そう p.13 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆				
2 楷書の書き方を確かめよう					
4 5	点画の書き方と字形の整え方〈大志〉 p.14-15 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆	点画の書き方と字形の整え方を理解して書くことができる。	2	① 文字の直し方を「書写のかぎ」を使って説明する。 ② 毛筆や硬筆で書いて、点画の書き方と字形を確かめる。 ③ 平仮名を漢字に直し、「書写のかぎ」を生かして楷書で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○点画の書き方と字形の整え方を理解して書いている。

5 5 6	<p>仮名の書き方と字形 〈五十音表〉 p.16-18 (3) エ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>仮名の書き方や字形の特徴を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 平仮名を書くときに気をつけることを考える。 ② 平仮名を書くときに気をつけることを「書写のかぎ」で確認する。 ③ 教科書の文字をなぞったり書いたりして、平仮名の特徴を確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○仮名の書き方や字形の特徴を理解して書いている。</p>
	<p>[文字のいずみ] いろは歌 p.19</p>	<p>「いろは歌」について知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① いろは歌とその解説を読む。</p>	
6 5 7	<p>文字の大きさと配列 〈夏山の緑うつりし小窓かな〉 p.20-21 (3) エ (ア) 【用具】小筆（筆ペン）・鉛筆</p>	<p>文字の大きさと配列を整えて書くためにはどうすればよいか理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 教科書の文の配列を整える方法を示された用語を使って説明する。 ② 文字の大きさと配列の整え方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 小筆や筆ペン、または硬筆で書いて、文字の大きさや配列を確かめる。 ④ ①の文を「書写のかぎ」を生かして書き直す。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○文字の大きさや配列の整え方を理解して書いている。</p>
9	<p>情報を整理した書き方 p.22-23 (3) エ (ア) 【用具】鉛筆</p>	<p>情報を整理して分かりやすく書くにはどうすればよいか理解して書くことができる。</p>	1	<p>① 二つのノートを見比べて、情報を整理するための工夫について考える。 ② 情報を整理した書き方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 会議録をまとめるために、情報を整理してノートに書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○情報を整理するための工夫を理解して書いている。</p>

	楷書のまとめ p.24-25 (3) エ (ア) 【用具】 鉛筆	楷書の書き方を理解して書くことができる。	適宜	① 字形の整え方を確かめて書く。 ② 筆順の決まりを確かめて書く。 ③ 「書写テスト」に挑戦する。	【知識・技能】 ○楷書の書き方を理解して書いている。
9	[生活に広げよう] 案内の手紙を書こう p.26-27 (3) エ (ア) 【用具】 鉛筆・ペン	案内に必要な情報を分かりやすく書くことができる。	1	① 手紙の形式を確かめる。 ② 案内に必要な情報を考える。 ③ 学習したことを生かして案内の手紙を書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。	【思考・判断・表現】 ○案内の手紙を書くときに既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、分かりやすい案内の手紙を書こうとしている。
	[文字のいずみ] 文字の成り立ちと移り変わり p.28-29	文字の成り立ちと移り変わりについて知り、文字文化への関心を高めることができる。	適宜	① 篆書・隸書・草書・行書・楷書・平仮名・片仮名の成り立ちについて解説を読む。	
3 行書の書き方を学ぼう					
10	行書を書くときの動き p.30-33 (3) エ (イ) 【用具】 毛筆・鉛筆	行書を書くときの特徴的な動きを理解して書くことができる。	2	① 文字をなぞり、行書を書くときの動きを楷書のとくと比べて考える。 ② 行書を書くときの動きを「書写のかぎ」で確認する。 ③ 行書を書くときの四つの動きを確かめる。 ④ 文字の四つの動きをなぞり、「書写のかぎ」を生かして文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○行書を書くときの特徴的な動きを理解して書いている。

10 5 11	<p>点画の連続〈日光〉 p.34-35</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 行書の点画の連続の仕方と連続する理由について、書く動きを楷書と比べて考える。</p> <p>② 点画の連続の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 毛筆や硬筆で書いて、点画の連続を確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書いている。</p>
11	<p>点画の変化〈大空〉 p.36-37</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 行書の点画の変化の仕方と変化する理由について、書く動きを楷書と比べて考える。</p> <p>② 点画の変化の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 毛筆や硬筆で書いて、点画の変化を確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。</p>
	<p>行書のまとめ① p.38-39</p> <p>(3) エ (イ)</p> <p>【用具】鉛筆</p>	<p>行書の点画の連続と点画の変化を理解して書くことができる。</p>	適宜	<p>① 行書の四つの動きを確かめながら書く。</p> <p>② 行書の点画の連続を理解して、確かめながら書く。</p> <p>③ 行書の点画の変化を理解して、確かめながら書く。</p> <p>④ 「書写テスト」に挑戦する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○行書の点画の連続と点画の変化を理解して書いている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 伝統的な用具・用材 p.40-41</p>	<p>伝統的な用具・用材について知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 筆・墨・硯・紙の生産地や作り方についての解説を読む。</p>	

12	<p>[生活に広げよう] 年賀状を書こう p.42-43 (3) エ (イ) 【用具】 ペン・小筆 (筆ペン)</p>	<p>行書の動きや形の特徴を考えて年賀状を書くことができる。</p>	1	<p>① 年賀状を書くときに、気をつけることは何か考える。 ② 行書で年賀状を書く。 ③ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○年賀状を書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、行書で年賀状を書こうとしている。</p>
12	<p>[文字のいずみ] 書き初めをしよう 〈夢の実現〉〈温故知新〉 〈美しい緑〉〈早春〉 p.44,97-100 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 毛筆</p>	<p>書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。</p>	1	<p>① 書きたい言葉と書体を考える。 ② これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ③ 書き初めを書く。</p>	<p>【知識・技能】 ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。</p>
1 5 3	<p>[生活に広げよう] 職場訪問をしよう p.45-47 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 ペン</p>	<p>書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。</p>	3	<p>① 「職場訪問」という場面設定で、書写で学習したことをどのように生かすか話し合う。 ② それぞれの場面で活用する既習事項や書式の書き方を、実例を見て確認する。 ③ 実際の場面を想定して、場面に合わせた書式で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○場面や目的に応じて既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、目的や場面に合った文字を書こうとしている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 書いて味わおう 「竹取物語」 p.48 (3) エ (ア)・(イ) 【用具】 鉛筆</p>	<p>古典を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 「竹取物語」の文章を書く。</p>	
書写活用ブック					
	<p>さまざまな書式 (手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙 ほか) p.(2)-(9)</p>	<p>さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。</p>	適宜	<p>① 手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙, 入学願書, 複写式の用紙, 往復はがき, のし袋, 簡潔な手紙, 電子メールの書き方についての解説を読む。</p>	
	<p>行書の部分の形 p.(10)-(11)</p>	<p>行書の部分の形の違いを理解することができる。</p>	適宜	<p>① 上段の文字にならない、形の違いを意識しながら空欄に行書で書く。</p>	

	常用漢字表, 人名用漢字表 p.(12)-(32)	常用漢字, 人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。	適宜	① 常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。	
--	---------------------------	---------------------------------	----	---	--